

あれから30年…

「それまで一度も勝てなかった藤沢町に勝ったことで勢いに乗れた」と振り返る吉沢さん



県大会初優勝のキャプテン & 最優秀選手賞に選ばれた
葛巻町バレーボール協会 会長
吉沢 孝さん (54歳、茶屋場)

キャプテンとして出場し、最優秀選手賞にも選ばれたのでとても思い出深い大会です。この大会の前にミニバレーを指導する人たちでチームを作って出場するバレーボール大会の岩手県代表の一員として全国大会に出場したことがあり、その時の経験も生きたのかなと思います。

現在、バレーボールの経験がなかった若い人たちが練習に参加しています。ほかの体協やクラブチームなどと戦うような大会にも参加できるように、盛り上げていきたいです。

葛巻体協バレー 県大会で初優勝

平成元年6月25日、一関市で行われた第41回県民体育大会六人制バレーボール競技、青年男子町村の部で町バレーボール協会が初優勝を飾りました。昭和60年、町テニスクラブが軟式庭球成年女子団体、町村の部で優勝に次ぐ快挙です。同協会は昭和58年、葛巻高校OBが中心となりクラブ結成した若いチームです。昭和61年には県民体育大会3位でした。
〈1回戦〉葛巻2-0九戸 〈2回戦〉葛巻2-1藤沢 〈準決勝〉葛巻2-1都南 〈決勝〉葛巻2-0金ヶ崎



県大会初優勝の体協バレー部メンバー

当時を思い出し、息子さんと相撲をする遠藤さん



平成元年
第1回ちびっこ相撲大会で優勝した
遠藤 安孝さん (42歳、城内小路出身)

「平成元年に相撲大会で優勝したことある？」と同級生から聞かれ、社会体育館で行われた大会で優勝したことを思い出しました。

取組内容や出場するに至った経緯などは思い出せませんが、私は負けず嫌いでしたので必死になり相撲をしていたと思います。

現在42歳ですが、当時の気持ちを思い出し、健康に気を付けながらこれからも頑張りたいと思います。先輩や同級生、後輩の皆さま「令和」の時代も全力で頑張りたいです！

ちびっこ相撲に42人 小さな輪で心と技を披露

呼び出されて土俵に上がる豆力士。それに拍手、声援を送る家族や応援団、平成元年10月22日、町相撲協会、商工会青年部主催の第1回ちびっこ（小学生）相撲大会が社会体育館で行われました。

大会は、42人が参加し、団体戦、学年別個人戦に力と技を競い合いました。団体は西部地区、個人では遠藤安孝君（中部B地区・6年生）がそれぞれ初優勝しました。



白熱した戦いを繰り広げた「第1回ちびっこ相撲大会」の様子

あれから30年…

「さすがに今は8時間もできないな…」と当時を懐かしむ熊合さん



中部A地区で
8時間ソフトボール大会に出場した
熊合 敦司さん (60歳、新町)

各地区の体育振興会ができた時に、親交を深めようと中部Aが葛巻小グラウンドで始めたのが最初です。その翌年から中部Bと対戦。友達を誘ってみんなで参加していました。

試合の途中でも家に帰って、休憩を挟みながら8時間の試合をつないでいたと思います。月日がたった今では、楽しかった思い出以上に「長い時間、よくやったな」と感心します。人とのつながりや縦横の関係を学び、地域の人を知る場になっていました。

8時間ソフトに80人 中部A・B体育振興会

「地区内の体育の振興と親ぶくを深めよう」と中部A、B地区体育振興会（葛巻小学区）では平成元年9月17日、葛巻中学校グラウンドで、第4回8時間マラソンソフトボール大会を行いました。中学生以上で交替自由、一打席ごとに10円というルールです。午前8時から午後4時まで、70回を延べ80人が戦い70-50で中部B地区が勝ちました。打席料の11,354円は、町社会福祉協議会へ寄付しました。



試合は8時間休憩なし。自由に交替しながらプレーを続けた8時間マラソンソフトボール大会

あれから30年…

「誰でも気軽にできる競技を取り入れながらさまざまな世代が交流できる場をつくってほしい」と語る近藤さん



葛巻町スポーツ協会 会長
近藤 豊美彦さん (71歳、田子)

町民運動会は昭和42年に町青協が公民館と共催し、20周年事業として開催したのが始まりで、現在のスポレク祭にあたります。当時は多い時で2,000人も町民が綱引きや年齢別リレー、タイヤ引きなどの競技に参加し、白熱した戦いを繰り広げました。また、聖火リレーや応援合戦など、競技以外でも大いに盛り上がっていました。

ニュースポーツなど、誰でもできる競技を取り入れながらスポーツを通じた世代間交流を続けていきたいと思っています。

第23回町民運動会 1,500人がスポーツを満喫

第23回を迎えた町民運動会（第5回町民総合体育大会種目）は平成元年10月8日、葛巻小学校グラウンドで開催されました。

子供からお年寄りまで6地区体育振興会、役員など約1,500人が参加しました。競技は、体力、年齢にあわせ趣向を凝らした20種目に地区対抗戦を展開しました。得点は競技だけではなく、参加態度、応援団も対象です。太鼓やカネを打ち鳴らしたり、踊りを演じたり、プレーする人、見る人一体となってスポーツの秋の一日を楽しんでいました。



「町民運動会の華」年齢別リレー、バトンはおじいちゃんから孫へ